

# てこな

—琵琶語り—

作詞：稲田和浩  
作曲：高橋久美子(2006)

## てこな

下総国葛飾郡、真間の村に娘ありけり。その名を手児奈(テコナ)という。  
聡明で美人、多くの男たちの目に止まりぬ。

地頭の息子が金銀財宝持って、手児奈を嫁にとやってきた。山の主の息子は、猪や鹿の皮を山と積み、網元の息子は、舟一艘、手児奈の親に与えると、結構過ぎたる縁談ばかり。美しき娘、値百万両ぞ、親親類はお祭騒ぎ。されど手児奈が慕う男はただ一人。幼き頃より、髪の長さや背の丈くらべし筒井筒。すえは夫婦と親も認めし間なれど。

男は手児奈の美しさから目をそむけり。それもやむなしか。男には金銀財宝も山の宝も船もなく、ただ小魚や貝など集めその日を暮らすのみ。

手児奈は独り、数ある縁談に見向きもせず、ただ男のことを想い暮らしていたが、さても親親類がそれを許さじ。どの長者を選ぶのかと親親類に責められて。

手児奈は哀れ、海に身を投げけり。

手児奈の哀れに親親類のみならず村中の人皆涙せり。多くの歌人が歌を詠みけり。

ただひとり、涙流さぬ者あり。男は今日もただ小魚や貝など集めその日を暮らすのみ。

葛飾の真間の入り江にうちたなびく 玉藻刈りけむテコナし思ほゆ

# てこな

作詞：稲田和浩  
作曲：高橋久美子

声

(C.G.C.G.)

薩摩琵琶

$\text{♩} = 42ca.$

(セリフ)

$\text{♩} = 38ca.$

下総国 葛飾郡  
しもうさのくは かつしかごあり

ままのむらにイ  
むすめ

mp

あーり

そのなを

テコナという

a tempo

そうめいで

びじん

hit.

*accel.* *a tempo*  
 おおくのおとたちの めにとまりぬ  
 4 2 3 3 3 3  
 $\text{♩} = 46 \text{ ca.}$   
*mf*

poco a poco cresc.

*mp*

*rit.*  $\text{♩} = 38 \text{ ca.}$   
 じとうのむすこがきんきんさいほうもって  
 7 = なをよめにと  
*rit. e dim.*

必ずしも拍のタイマーを  
 合わせる必要はない。

♩ = 42ca.

3 mf

6

mp

accel. rit.

p mf

mp

た — — — き — た

た ま の お し の む す こ は

(v) 3

い の し け し の が わ ち ま と つ み

あ み も と の む す こ は

ふ い ね い そ う

7

て の な の お や に — あ た え る と

け こ う す き た る

い は う ん は かり

mf

6 mp

rit.

a tempo

6 5 3 6 3 3

mf

6 5 3 6 3 5 6 5 6 4 4 4 6 5 5 6 5 6 4 4 4 6 5 3

accel. rit.

mf sf

♩ = 38 ca.

うつくしき むすめ -  
mp

あたい ひとまはし ほうそ...  
mf

rit. v

♩ = 52 ca.

おもしろい は  
mp

おまつり さわ - き  
mf

dim. e rit

simile 適当な刻みで"

$\downarrow = 38ca.$

3 3 3

accel. rit.

mp sf

さねとてこながしたうちとこは (#+) (o)

5 4 6

ただひとり

accel.

5 4 5 4 5 6 5 4 5 5 5 6

あななきこ3より

mp

2 4 2 4 2 5 2 4 2 4 2 3

かみのながさやせたけくらべし つついつ

rit.

a tempo

3

まえはふうふと

(自由に音程をばこんで)

(#+) (o)

おやもみどしなかなれど

3 3 3

おとこ

は てこ-な の- うつ

し、から - めをそむけり

a tempo rit. ♩ = 42ca mp

5 6 3 3 5 6 2 4 2 3 3 2 3 3 5 6 3 3 5 6 2



♩ = 38ca.

4 2 3 3 2 3 3  
rit.  
それゆゑに  
おとこにはきんぎんざいほうも

まのたからもふねもなく  
ただこがかなやかいなどあつめ

そのひをくらすのみ  
てこはひとり  
かすある えんだんにみむ

accel. rit.

きもせす  
ただおとこのことま  
おもいくらしでいたか  
までも

mp

*poco a poco accel. e cresc.* <sup>5</sup> *a tempo*

おやしるい"が"をゆるさい"と"の ちやうじやええらぶ"のかと おやしるい  
mf

mp mf

(自由=)

に - せ - め らん ?

f mp

rit.  $\text{♩} = 32 \text{ca.}$  *poco a poco accel. e cresc.*

f mp

mf



$\text{♩} = 34 \text{ ca.}$  rit.  $\odot$

みをなげ-たり 3  $\sim$   $p$  7 こなのあわれに おやしるいのみならず 3 3

(セリフ) ゆ.  $\odot$

むらじゅうのみとみはなみたせ-り 3 多くの歌人が 歌を詠みけり 3

$p$  *accel.* rit. pp  $\odot$

X times X times

a tempo

ただひとり 3 4 mp なみたながすぬ もの-あり 3 4

$mp$  3

(拍のタイミングを合わせる必要はない)

おとこはきょうも (+) ただ-にさかなやかい (v)

Handwritten musical score for the first system. It consists of two staves. The upper staff is a vocal line with lyrics: "なとあつめ" and "そのひをくらすのみ". The lower staff is a piano accompaniment with a tempo marking of  $\text{♩} = 38 \text{ ca.}$  and a dynamic marking of *mp*. Fingerings and other performance instructions are written above the notes.

Handwritten musical score for the second system, continuing the piano accompaniment from the first system. It features two staves with various fingering numbers and performance markings.

Handwritten musical score for the third system. The upper staff has lyrics: "かつしかの" and "ままのいりえに うちたなわく". The tempo is marked as  $\text{♩} = 34 \text{ ca.}$  and includes a *rit.* (ritardando) marking. The lower staff continues the piano accompaniment.

Handwritten musical score for the fourth system. The upper staff has lyrics: "たまも" and "かりけ (エ) む てこ な し おもほゆ". The lower staff continues the piano accompaniment with various performance markings.

(約15分)